

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

# わたしたちの地球と未来

 パキスタン・イスラム共和国 



### 【表紙の写真】

K2（右上）

カラコルム山脈にある標高世界第2位の山。

P.15

パキスタンの子どもたち（左下）

ひたむきな瞳がとっても印象的です。

 墨さおり

# Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 こんな風に使えます!
- 05 なぜパキスタン・イスラム共和国?

## 第1章 パキスタンってどんな国?

= お酒がなくても酔える! 多彩な魅力に満ちた国 =

- 07 クイズ100人に聞きました!
- 09 パキスタンの料理は甘い? からい?
- 11 知ってるようで知らないパキスタン
- 13 知ってるようで知らないパキスタン パート2
- 15 ちょっとブレイク

## 第2章 へえ~! パキスタンと日本

- 17 宮崎駿の映画の舞台はパキスタン?
- 19 パキスタンから見た日本、日本から見たパキスタン
- 21 パキスタンと日本、誇れるところ・頑張りたいところ

## 第3章 一緒に考えよう! こんな課題

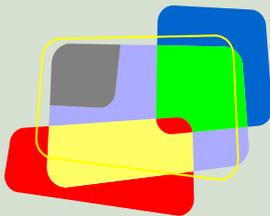
- 25 学校に行きたい!
- 29 学校に行きたい! パート2
- 31 平和について考えよう!
- 33 フォトギャラリー

## 第4章 そして未来へ

- 35 もしも外国とのつながりがなくなったら
- 36 未来の地球

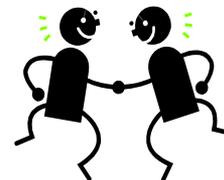
### 参考資料

- 39 目で見るパキスタン
- 41 パキスタン地図
- 43 参考文献・データ等の出典
- 43 ご協力いただいた方たち
- 43 執筆・教材作成チームメンバー



# こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！  
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



## 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していけたらいいなと思います。

## 人の顔が見える教材をつくりたい！

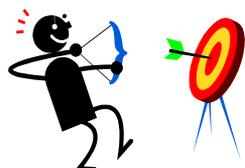
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

## 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさんの問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

## 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



# こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

## ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

## 参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4~6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

## きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、パキスタンのほんの一面です。本書だけでパキスタンのすべてがわかるわけではありません。パキスタンに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

## 使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。P.3~4に掲載した使い方の例を参考に、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

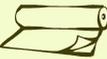
## カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

## 本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2~4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



 参加型のプログラムです。必要に応じてコピーし、配布してください。	 プログラムで模造紙を使います。
 プログラムに関する説明です。ファシリテーター・先生用です。	 プログラムでマジックを使います。
 プログラムのねらいです。	 プログラムで付箋を使います。
 ちょっとブレイク一口コラムです。	 プログラムでA4用紙を使います。裏紙等を活用してください。
 プログラムに使う資料です。必要に応じてコピーし配布してください。	 データ等の出典です。
 コピーし、カード等に切り離して使ってください。	 写真の撮影者です。

# こんな風に使えます！

例えば、こんな使い方はいかがですか？

## 第1章 パキスタンってどんな国？ = お酒がなくても酔える！ 多彩な魅力に満ちた国 =

### ● P.7 クイズ100人に聞きました！

パキスタンを学ぶ学習の導入として使えます。正しい答えはなかなか出てこないと思いますが、正しい答えを求めることがねらいではありません。特に、日本に入ってくる情報はほんの一部だけなので、それだけでその国のイメージを持ってしまいがちです。でも実はあまり知らないということを改めて認識し、「パキスタンっていったいどんな国だろう？」と興味をもってもらい、次の作業につなげるとよいでしょう。

①の地図は、日本が中心にありません。普段日本で使われている世界地図は、日本が中心になっているものが多いのですが、「極東の国」といわれるように、ほかの国では日本が右端になっている地図が多く使われています。これをきっかけに、世界で使われている様々な地図を調べてみるのもおもしろいでしょう。

### ● P.9 パキスタンの料理は甘い？ からい？

P.9をコピーして配布し、「料理と説明を線で結ぶ」というプログラムです。実際に料理を作って食べてみたりするとなお盛り上がります。

### ● P.11・13 知ってるようで知らないパキスタン

カードをバラバラに切り離してグループで「ウソ」と「ホント」に分ける作業をしますが、場合によっては、裏紙などで「ウソ」カードと「ホント」カードを作り、個人またはグループで掲げてもらっても楽しいかもしれません。また、調べ学習などと組み合わせ、参加者にクイズを作ってもらい、お互いにクイズを出し合うのもおもしろいでしょう。

## 第2章 へえ～！パキスタンと日本

### ● P.17 宮崎駿の映画の舞台はパキスタン？

可能なら写真はダウンロードし拡大して使ってください。答えを説明する前に、まずは写真からイメージする町の様子をみんなで出し合ってもおもしろいでしょう。フンザの町については、時間があれば調べ学習にして子どもたちに発表してもらってもいいと思います。このプログラムの「ハセガワ・メモリアル・パブリック・スクール」から発展してP.25・29の「学校に行きたい」につなげてもいいでしょう。

### ● P.19 パキスタンから見た日本、日本から見たパキスタン

可能なら絵はダウンロードし拡大して使ってください。このプログラムは、パキスタンについて学んだ後のまとめとして行うといいでしょう。

### ● P.21 パキスタンと日本、誇れるところ・頑張りたいところ

このプログラムもパキスタンについて学んだ後のまとめとして使えます。③の墨さんのお話を聞く前にパキスタンの誇れるところはどこなのか参加者で考えてみるのもいいですね。

### P.25・29 学校に行きたい！

P.25のプログラムでは、識字率、農村部と都市部の格差、女子の教育、児童労働の問題、P.29のプログラムでは、児童労働、貧困、身分制度の問題に触れています。いずれの問題も重要な課題でさらに深めることが可能です。ユニセフなどのホームページに様々な資料、ビデオ等が掲載されており、活用できます。参加者が小学生なら、プログラムに入る前に、「もしも学校がなかったら」「理想の学校はどんな学校？」などを考えてみるのもいいでしょう。

### P.31 平和について考えよう！

パキスタンと言うと、どうしても「紛争」のイメージを思い浮かべてしまいます。単純に「こわい」とか「遠い国のこと」と捉えることがないように、また「パキスタン=こわい国」と決めつけることがないようにプログラムを進めてください。また、カシミール紛争はデリケートな問題でもありますので、取り上げる場合は、客観的な事実のみを紹介するようにしてください。このプログラムを進めるときは国を前面に出すよりも、今でも紛争に苦しんでいる国があるという事実を伝えたいので、身近な「けんか」や「いじめ」なども考慮しつつ、一般的な「平和な社会」について考えたほうがいいかもしれません。

## 第4章 そして未来へ

### P.35 もしも外国とのつながりがなくなったら / P.36 未来の地球

導入としてもまとめとしても使えるプログラムです。P.37の成果物も参考にしてください。

## その他いろいろ

国名については、外務省の表記にあわせて「パキスタン・イスラム共和国」と書いてありますが、原語にできるだけ近い表記にするため、国名以外においては「イスラーム」を使っています。その他固有名詞も、できるだけ原語に近い表記にしました。

国際交流は楽しいものです。プログラムも楽しい雰囲気が進められるよう参加者にあわせた進め方にアレンジしてください。

プログラムは単独でも組み合わせでも使えます。参加型のプログラムと情報提供の時間をうまく組み合わせましょう。例えば、「知ってるようで知らないパキスタン」をやったあとに留学生や青年海外協力隊OB / OGなどのお話を伺うと、より楽しくわかりやすいと思います。

4～6人のグループで行うとアイデアが出やすく、場も盛り上がります。ただ、流れや状況に応じて、個人作業や全員での作業を交えながらメリハリをつけるといいでしょう。

各プログラムの最後に「気づいたこと、わかったこと、感じたこと」などを聞くふりかえりの時間をとると、より理解が深まり、記憶に残りやすいでしょう。

P.33にパキスタンの写真を掲載しています。必要に応じて活用してください。

P.43に参考文献・データ等の出典を掲載しています。特にデータについては、最新のものを使っていただいた方がいいと思います。

パキスタン以外の国の教材も作成しています（P.5）。同じテーマを扱っている国もありますので、組み合わせるとおもしろいかもしれません。例えば、料理や学校の様子などはいろいろな国のものを合わせて比較すると楽しいです。慣れてきたら、グループごとに国を決めて子どもたちがファシリテーター役でプログラムを進めるのもおもしろいかもしれません。

# なぜ、パキスタン・イスラム共和国？

始まりは2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中、愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受け入れを行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、パキスタン・イスラム共和国のホームシティは津島市でした。

A world map showing the official participating countries of the 2005 Aichi World Horticultural Exposition. Countries are color-coded: pink for the textbook's home city (Pakistan), green for countries that created the 2007 textbook, and light blue for official participating countries. Labels include: フランス共和国, ポルトガル共和国, オランダ王国, セネガル共和国, ガボン共和国, 南アフリカ共和国, カメルーン共和国, 大韓民国, パキスタン・イスラム共和国, パナマ共和国.  

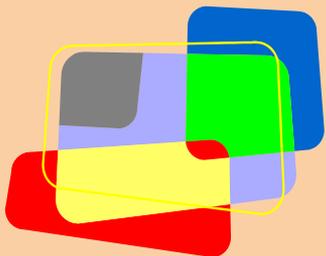
- : 本教材
- : 2007年度教材を作成した国
- : 愛知万博公式参加国

愛知万博  
パキスタン・イスラム共和国館

 第1章

# パキスタンってどんな国？

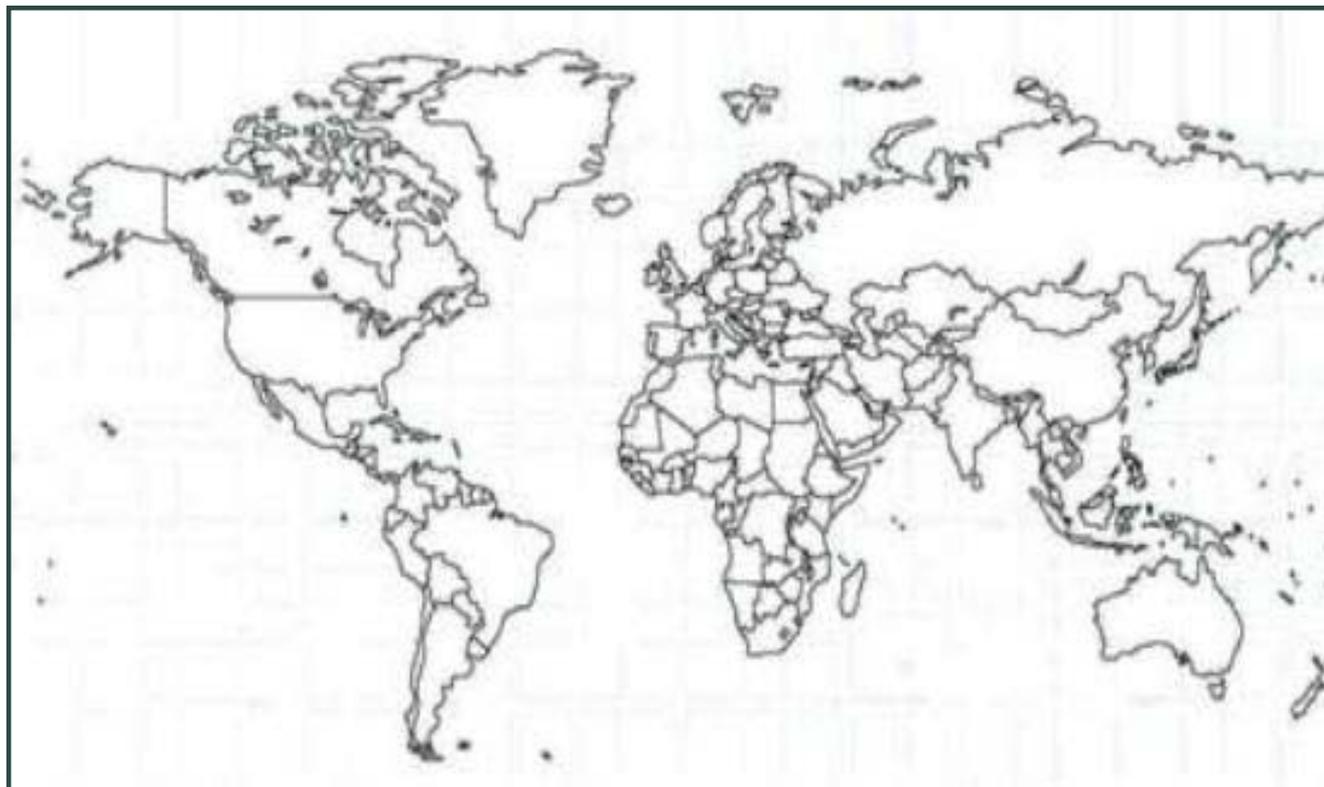
= お酒がなくても酔える！ 多彩な魅力に満ちた国 =



# クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんはパキスタンのこと、どのくらい知っていますか？

① 下の地図でパキスタンはどの辺だと思えますか？



② パキスタンと言えば何？ 人、物、イメージなど、何でもいいので思いつくものをできるだけたくさん挙げてみよう！

③ パキスタンで知っている都市の名前は？ いくつ思い浮かぶ？

④ 知っているパキスタン人と言えば？



「スタン（正確には(istaan)）」というのはペルシャ語で「国」を表す言葉だそうです。なので、アフガニスタン、ウズベキスタン... など「スタン」がつく国がいくつかあるのです。パキスタンの国名は地域の名前、パンジャーブ(P)、アフガーン(A)、カシュミール(K)、シンド(S)、そしてバルーチスタン(TAN)の一部を組み合わせて作られました。同時に、「清浄な国」を意味します。

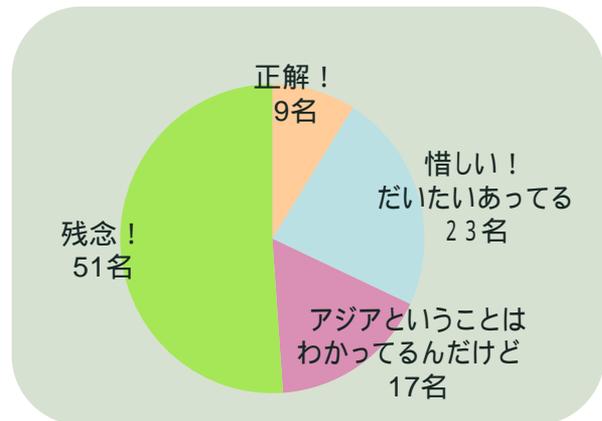


同じ質問を津島市の高校生100人に聞いた結果は次のようになりました。



まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

## 1. パキスタンはどこ？



国名は知っていても位置までは難しいですね。インドのどっち側だっけ?と迷ってしまいます。中東の地域と間違えてしまった人もいました。

## 2. パキスタンと言えば...

「カレー」がダントツで48人いました。そして、現在の状況から「戦争・紛争」(18人)「危ない・こわい」(5人)「戒厳令」(1人)「大変なことになっている」(1人)をあげた人もいました。早く平和になってほしいですね。それ以外のイメージは次のとおりです。

ターバン(10) / 貧しい・貧富の差が激しい(10) / イスラム教(9) / 月と星の旗(6) / 香辛料(4) / さばく(4) / チャパティ(3) / ウルドゥー語(3) / 発展途上国(3) / 緑(2) / アジア(2) / パキスタン料理(2) / 宗教(2) / 難民(2) / 津島市(2) / ムシャッラフ大統領 / 牛 / 黒い服 / 暑い / 肌を隠した女性 / 茶色っぽい / ヒンズー教 / 黒人 / 飢えたこども / ターリバーン など

## 3. パキスタンで知っている都市は

「わからない」と答えた人が71人。「イスラマバード」13人、「カシミール」1人、「カラチ」1人「ラホール」1人という結果でした。

「タン」つながりでウズベキスタン、「イス」つながりでイスタンブールと答えた人が数人いました。ややこしいですね。

## 4. 知っているパキスタン人は

「知らない」と答えた人が78人、「ムシャッラフ大統領」と答えた人が3人でした。

そのほか、個人的な知り合い、お友達をあげてくれた人が10人いました。さすが津島市の高校生ですね。



古代4大文明の1つであるインダス文明はこの地域で発達した文明です。ハラッパーやモヘンジョ・ダロなどたくさんの遺跡があります。また、仏教王国ガンダーラもパキスタン北西部に栄えた王国です。パキスタンは、仏像誕生の地でもあるのです。

# パキスタンの料理は甘い？からい？

① 1~10の写真は何の料理でしょう??  
これと思う料理カードA~Jと線で結んでみましょう。(ちょっと難しいカナ...)



1



A コフタ

コフタは肉や野菜、卵をミンチにして団子状にしたもの。

2



B パラーター

小麦粉を練って形を丸く整え、油を使って焼いたもの。ナンと違って発酵させていない。一般に朝食に食べる。

3



C クルフィー

煮詰めた牛乳にスパイス・ナッツ類を入れ、凍らせた菓子

4



D パコーラー

野菜のてんぷら。ただし、小麦粉ではなくヒヨコ豆の粉を使う。

5



E プラーオー

パキスタン風香辛料入りピラフ。ピラフの語源。

F サモーサー

マッシュポテトやキーマを厚めの餃子の皮のようなもので三角形に包んで揚げたスナック。

G チャーエ

砂糖をたっぷり入れた甘いミルクティー。日本では「チャイ」と呼ばれているが、パキスタンでは「チャーエ」。

H カフワ

日本の緑茶に似たお茶。主に、ペシャワールなどの地域で好まれる。カラチでは飲まれない。

I ダール

ダールは豆のこと。豆を使ったカレーは、庶民的な料理の代表。

J ラッシー

ヨーグルトを水やミルクで割った飲み物。砂糖か塩を加えて飲む。



6

丸山令子



7



8



9



10



パキスタンでは、カレーとは言わず「サーラン」と言います。「チキン・カライ」と言われて「ん?カレー?辛い?」と誤ってしまいますが、「カライ」は鍋のこと。パキスタンのカレーはサラサラスープ。具やスパイスや調理法など数え切れないほど種類があって、朝昼晩食べても全くあきません。



- ① **T** ダール      ② **A** コフタ      ③ **J** ラッシー      ④ **E** プラーオー  
 ⑤ **C** クルフィー      ⑥ **G** チャーエ      ⑦ **F** サモーサー      ⑧ **H** カフワ  
 ⑨ **D** パコーラー      ⑩ **B** パラター

## パキスタンのたべものといえば？

パキスタンの料理といって想像する物といえば、カレー・ナン・ミルクティーですが、パキスタン人は同国を「フルーツの宝庫」と形容しています。特に、マンゴーについては「世界一おいしい」と誇っています。ただし夏しか食べられません。また、これらのジュース(特にマンゴー・スイカ)やアイスクリーム(ペシャワリーアイスクリームのピスタチオマンゴー)もおいしいです。

主食は小麦粉(チャパティーなど)、副菜がサーラン(カレー)。サブジー(野菜カレー)、ダール(豆カレー)、ネハーリー(牛の肉や骨、たっぷりの野菜を何日も煮込んだスープ、とろみがある)、ピルヤーニー(パキスタン風香辛料入り炊き込みご飯、パキスタン米がないと作れない)などです。また、甘党には、ラッシー(ヨーグルトジュース)、緑茶のカフワ、グラブジャム(パキスタン風白玉のシロップ漬け)などのミターイー(お菓子)、クルフィー(煮詰めた牛乳にスパイス・ナッツ類を入れ、凍らせた牛乳アイス)、バルフィー(アイスクリームみたいなもの、語源はバルフ(氷、雪))などがあります。



マンゴー

(写真) ウィキペディア

## パキスタン料理の特徴

パキスタンでは、宗教的な理由から豚肉を食べないのでもちろんサーラン(カレー)にも入れません。家庭で毎日食べるのはサブジーやダール、チキンのサーラン。ただし、肉はお祈りをしたもの(ハラール)でなければいけません。

多少高価でご馳走なのは、ヤギをはじめ、ラムや牛の脳みそ入りのカレーです。脳みそカレーは昔からある料理で、パキスタンでも好き嫌いがはっきり分かります。脳みそのおいしさは柔らかさと鮮度。このふたつを大切にするため、最後にカレーと混ぜたり、脳みそを揚げてからカレーに混ぜるなど煮崩れないように注意します。ベテランコック向けの難しい料理なので、家庭よりお店で食べるケースが多い一品です。また、パキスタンにはカレールーはなく、スパイスをいろいろ加えてカレーを作ります。パキスタン料理の特徴は、「ガラムマサラ」(シナモン、クローブ、ナツメグなどをあわせて作る香辛料、家庭によって調合方法が違うので「おふくろの味」的存在)を多用するところにあります。

料理や食べ物が驚くほど甘いことが多いのは、アルコールが禁止であることが理由です。乾いた風土の中では、日中はあまり動き回らないで、水分を補給する必要があり、チャーエを飲みます。この時の甘い菓子は、熱さでけだるい体によく合うのです。パキスタンの至る所にチャーエ・ハーナ(喫茶店)があり、男達が終日おしゃべりし、日本の居酒屋と変わらない様子です。

P.9 写真: 1・2・7・8・10(パキスタンラホールホームページ) 3・4・6 (財団法人日本パキスタン協会ホームページ)

9(パキスタン大百科ホームページ)



禁酒の国なのに、なぜかパキスタンビールがあります。「マリービール」というピン入りの軽い飲み口のビールがそれ。もともとはパキスタンに駐屯しているイギリス兵のために作られていたそうです。そしてもう1つ、北部のフンザにはフンザパーニー(フンザの水)という地場ワインもあります。

# 知ってるようで知らないパキスタン

① 次のカードはパキスタンに関わることについて書かれたものですが、さてさて、ウソ?ホント?



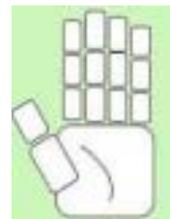
① パキスタン人の  
母国語はウルドゥー語。



② ウルドゥー語も  
日本語と同じで左か  
ら右へと書く。



③ 数を数えるとき  
は、指の関節を使う。



④ ラマダーン(断食  
月)のときは、唾を飲  
みこむことも  
禁止!



⑤ ラマダーン明け  
の食事のことをパキ  
スタンでは「イード」  
という。



⑥ ラマダーンの時期  
は子どもも大人もど  
んな人も飲食禁止。



⑦ パキスタンでは、  
6歳から15歳が義務  
教育。



⑧ パキスタンの公  
立中学校は男女別  
学だが、先生は男女  
を問わず、教えること  
ができる。



⑨ パキスタンの日  
常的な交通手段であ  
るバスには時々ヤギ  
も人間と同じ運賃を  
支払って乗っている。

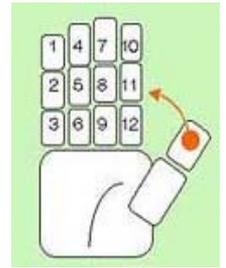


イスラム教徒は日に5回お祈りをしないと行けないので、金曜日はお店などの仕事以外は午前中でおしまい、金曜日以外のオフィスアワーは一般的に8時から5時、お祈りの時間だけ抜けたりする。人によっては、朝や夜にまとめてお祈りしたり、宗派によっては1日3回でいいこともあるとか。



- 1 **×ウソ** パキスタンの国語はウルドゥー語ですが、ウルドゥー語を母国語として話しているのは、人口のたった8%です。例えばパンジャブ州ではパンジャブ語、北西辺境州ではパシュトー語というように地域によって違うことばが話されているのです。そのため、自分の地域のことば、ウルドゥー語、英語、そしてコーラン(正しくは「クルアーン」)を読むためのアラビア語を話したり読めたりするパキスタン人も少なくありません。英語が話せないとパキスタンではちょっぴり馬鹿にされるので注意!
- 2 **×ウソ** ウルドゥー語の文字はアラビア文字です。アルファベットは35文字あり、右から書きます。話し言葉としてはヒンディ語に似ていますが、ヒンディ語はデーヴァナーガリー文字を使います。
- 3 **ホント** パキスタンやインド、イラン、イラク、エジプトなどでは、指の関節を使って12進法で数を数えます。この数え方が、1日を12等分したり、1年を12ヶ月にしたりする考え方に影響を与えたのではないかとわれています。具体的には、親指で親指以外の指の関節に触れながら数えます。
- 4 **ホント** 太陽が地平線の上にある間、飲食を禁止する期間をラマダーンといいます。詳しい期間は暦で決まっていますが、新聞やモスクからの放送でも伝えられます。この期間は、薬や唾を飲むことも禁止、注射を打つことも禁止です。ラマダーンには、食物への感謝、神への感謝をするとともに、貧しい人の苦しみをみんなで共有するという目的があります。
- 5 **×ウソ** 断食明けの「食事」のことは「イフタール」といいます。英語の朝食を意味することば "breakfast"も「断食を破る」という語源がありますが、「イフタール」も同じです。パキスタンでは、カジュール(ナツメヤシ)、パコラー(スパイシーなてんぷら)、サモサー、果物など、普段より豪華な食事が出されたりします。ちなみに「イード」はラマダーン明けの「祝日」を意味し、日本で言うお正月にあたります。
- 6 **×ウソ** ラマダーンでも、断食を免除される人もいます。例えば、子どもはできる範囲でOK。老人は免除される代わりに、貧しい人に食事を与えます。病人や兵士、旅行者も完治したり帰ってくるまでは免除されます。なので、この時期は旅行に行く人が増えるとか....
- 7 **×ウソ** パキスタンの教育制度は、5~9歳が小学校、10~12歳が中学校、13~14歳が高校となっています。高校卒業後、試験に合格すれば、カレッジ、さらに大学へと進みます。法律上義務教育制度はありません。そのため、貧しい家庭では子どもたちも重要な働き手なので、学校に通わせる余裕がありません。(第3章参照)
- 8 **×ウソ** イスラーム教国なので、公立の中学校以上はすべて男女が別。教師も男子生徒には男性、女子生徒には女性が教えますが、都市部の私立では男女共学が一般的です。また、大学は公立でも男女共学が普通です。
- 9 **ホント** 本当です。食料として買われたヤギが生きたままバスに乗っているのです。ニワトリがショッピング袋に入れて乗っていることも、日本人からするとびっくりですが、なんともものどかな光景ですね。

پاکستان  
ソータスキーパ



# 知ってるようで知らないパキスタン パート2

① パキスタンについてちょっとわかってきましたか?では、次はどうでしょう、ウソ?ホント?



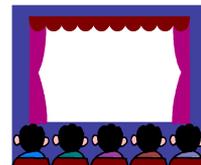
⑩ 幼稚園は大事。中間テストと期末テストがあって、成績が悪いと小学校に行けないこともあるのだ!



⑪ パキスタンの家は広い! 都市部の場合、1ベッドルームに必ずバストイレもついてる。



⑫ パキスタンでは女性は映画館には入れないか限られた空間しかダメ!



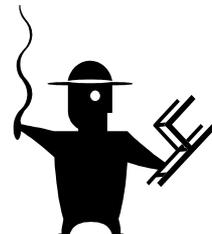
⑬ イスラム教は豚肉が食べられないが、魚介類ならすべてOK。



⑭ 一般的に、女性が外を歩くときは、ドパッターというショールで髪の毛さえ隠していればいい。



⑮ お酒を飲んだことが見つかったら、何とむち打ちの刑が待っている。



⑯ 軽トラックに屋根のついた乗り物は、パキスタンでは「スズキ」と呼ばれている。



⑰ パキスタンの国花はバラ。



⑱ イスラム教徒が90%以上のパキスタンでは、「イスラム教の教え」イコール「国の法律」といってもいいくらいである。



イスラム教徒というと、何となく男尊女卑というイメージを持ってしまいがち、確かにそういう面もあるのですが、イギリスの植民地だったせいか、パキスタンではマナーとしてのレディファーストが徹底しているそうです。たとえ3歳の男の子でも、女性が荷物を持っていたら荷物を持とうとし、女性が座ろうとしたら椅子を引くとか、どこかの国の男性に見習って欲しい!





- 10 **ホント** 幼稚園は日本と同様3歳～5歳の子どもが通いますが、ウルドゥー語や英語詩の暗唱、算数などを習います。幼稚園が最終学歴となる子どももいるので、読み書き、計算はしっかりと教えられます。4～6月、9～3月の2学期制になっており、休みの前には、中間テスト、期末テストがあります。シビア!でも、子どもたちは最初おかあさんと離れたたくなくて泣いたり、おもちゃの取り合いでケンカしたり。世界中、どこでも一緒ですね。
- 11 **ホント** 経済的には決して豊かとはいえない国ですが、「家」はとっても広いです。いわゆる集合住宅はほとんどなく、一戸建て。ただし、農村部の場合は、部屋はたくさんあってもバス・トイレがついていないことも。日本の事情をよく知るあるパキスタン人が日本の印象を聞かれて最初に言ったことばが「家が狭い!」だったとか。
- 12 **ホント** これも本当です。パキスタンはイギリスの植民地だったので、マナーとしてのレディファーストは徹底しているのですが、基本的に女性は映画館に入ることができないか、二階席など決められた場所しか入れません。料金も割高です。その分、DVDは充実しており、映画は家で楽しめます。
- 13 **×ウソ** 魚介類でもウロコのないもの、例えばうなぎやタコやイカは食べられません。その分他の食材は豊かで、季節のものが安く手に入ります。特に、チキンは絶品! カレーも季節ごとに具が変わります。
- 14 **×ウソ** 地域差があるので一概には言えませんが、髪の毛だけではダメで、胸も隠さなければいけません。髪や胸は女性の象徴だからです。他に脛(すね)を出すのもタブーなのでスカートははきません。ペシャワールなど保守的な地域では、顔を含めて「女性的なもの」すべてを隠さなければなりません。パキスタンの女性はこのルールを守りながら、おしゃれを思いっきり楽しめます。ドパッターを布から選び、オリジナリティあふれるデザインでオーダーします。みんなとってもかわいらしいそうです。
- 15 **ホント** むち打ちの刑についての是非は別として、飲酒がそれだけ重罪ということですね。
- 16 **ホント** そう、「スズキ」と呼ばれています。パキスタンの日常生活における交通手段はバス。その他、この軽トラックやリキシャ(オート三輪)、タクシーなどが使われます。鉄道は、地方から地方への長距離移動に使われます。
- 17 **×ウソ** パキスタンの国花はジャスミンです。でも、イギリスの影響か、パキスタンの人たちはバラが大好き! 道路の分離帯など、街中はバラであふれています。そしてもちろん、ジャスミンの花壇もたくさんあります。
- 18 **ホント** 法律はイスラーム教の教えが基本となっています。例えばイスラーム教で禁じられているお酒も豚肉も法律で禁止されています。海外からの旅行者がお酒を飲む場合、日本円にして約6000円のパーミッションを支払い、許可を受けます。豚肉もレストランの裏メニューを見せてもらって頼みます。いずれの場合も、パキスタンの人に見られないよう陰でこっそり飲んだり食べたりすることがルールです。ただし、イスラーム法国家ではありません。





# ちょっとブレイク



## パキスタンの乗り物いろいろ

### タクシー



最も贅沢な乗物。メーター無し。値段交渉が初心者には難。10ルピー/km。イスラマバードはタクシーであふれている。

### ワゴン



最も庶民的な乗物。3~7ルピー程度でどこでもいける。日本で言うハイエースに通常20人以上乗る。速くて安い。

### オートリクシャー



インドでよく聞く乗物。パキスタンでは青色の3輪バイク。3人乗りでぶんぶんとばせ。6人でも乗れる。イスラマバードには乗り入れ禁止。代わりにタクシーが安い。

### スズキ



名前のとおりSUZUKIの軽乗用車。15人以上のって特定区間を往復、もしくは荷物運搬。

### タンガー(馬車)



普通は乗らない。観光もしくは荷物運搬・貧乏人用。意外と高額請求される。女性が乗ると娼婦と間違えられるので注意。

### バリバス



市民の足だが遅い。ゆっくりさを楽しもう。バリはウルドゥー語で大きいの意味。ラホールにて10本程度の路線あり?

### キンキ



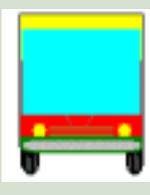
バイクに黄色の客用シート。7人乗りで通常は特定区間を往復。

### ラホールDaewoo エアコン付市バス



ラホール高級市バス。ラホールにて10本程度の路線あり。

### ラホール市バス



ラホールのマールロードなど主要箇所を走る。ラホールにて10本程度の路線あり。

### トラック



普通は乗れない。ヒッチハイクにいい。色鮮やかで一度は屋根に乗ってみたい乗物。

ラホール: パキスタン第2の都市

「パキスタンラホール」ホームページ

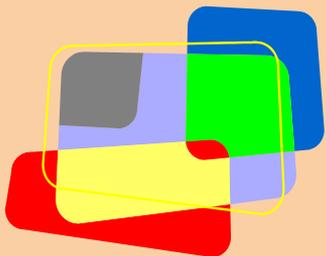
## 世界の高い山

1	エベレスト(チョモランマ)【ヒマラヤ】	8,848m
2	ゴドウィンオースチン (K2 / 中国名: チョゴリ)【カラコルム】	8,611m
3	カンチェンジュンガ【ヒマラヤ】	8,586m
4	ローツェ【ヒマラヤ】	8,516m
5	マカルウ【ヒマラヤ】	8,463m
6	チョーオユ【ヒマラヤ】	8,201m
7	ダウラギリ【ヒマラヤ】	8,167m
8	マナスル【ヒマラヤ】	8,163m
参考	富士山	3,776m

世界第2位の標高を誇るK2(ケーツー)はカラコルム山脈にあります。カラコルムはトルコ語で「黒い砂利」。標高7,000m以上の山が60以上もあります。中でもK2は不安定な天候、急な傾斜により、標高世界第1位のエベレストより登頂が難しいと言われています。1856年、インドの測量局がカラコルムの測量を始めたとき、無名の山に、カラコルムのKをとって順にK1、K2、K3、K4...と測量番号をつけました。K2以外の山は名前がつけられたり、現地の名前が採用されたりしましたが、K2だけは測量番号がそのまま山の名前として残りました。

 第2章

へえ～！パキスタンと日本



# 宮崎駿の映画の舞台はパキスタン？

① 想像してみてください。この写真に写っているところは、どんなところだと思いますか？



📷 墨さおり

- ① 実はこの写真はあるアニメ映画の舞台となったと言われている町の風景です。何の作品だと思いますか？ ヒントは...宮崎駿監督の作品です。
- ② そう、「風の谷のナウシカ」です。どんな作品だったか覚えていますか？
- ③ 舞台となったといわれているのは、パキスタン北部の「フンザ」という町です。どこにあるのか地図で調べてみましょう。



フンザを含むパキスタンの北部地域では、昔から「ナムキーン・チャーエ」と呼ばれる塩入りの紅茶を飲む習慣があるそうです。また、フンザは杏、アーモンド、桜、モモ、リンゴの花が次々と咲きます。杏の花は桜と似ているのですが、枝に直接花が咲いているのが杏、ヘタがあるのが桜だそうです。



## 風の谷のナウシカ

アニメーション映画監督として世界から評価を受けている宮崎駿監督の代表作「風の谷のナウシカ」(1984年公開)。そのモデルとなったのが、パキスタン北部の小さな町という説があります。その町の名は「フンザ」。藩王国として栄えた「フンザ」は不老長寿の桃源郷として知られ、日本からの観光客やバックパッカーにも人気のある秘境のひとつです。「風の谷のナウシカ」は、高度に発展した産業文明が人類の引き起こした「火の7日間」と呼ばれる最終戦争により滅んだ後の遠未来世界を舞台に、辺境の小国「風の谷」の族長の娘「ナウシカ」を主人公にして、文明や自然、環境破壊などについて問いかけた作品です。

宮崎監督は、写真を撮るとその場所の模倣になってしまうので、取材場所の写真をとらないそうです。そのため、「風の谷のナウシカ」の舞台は、オーストラリア(アウトバック:ウルルカタジュタ国立公園内)との説もあり定かではないのですが、もしかしたらあの作品の舞台がパキスタンだったかもしれないなんて、何だか親近感を感じますね。

## 登山者のあこがれの理想郷「フンザ」



フンザはパキスタン北西部に位置する地域です。

パキスタンと中国新疆(しんきょう)ウイグル自治区を結ぶアジア横断ルートの途中にあり、7000m級のパミール高原の山々があるため、登山目的の観光客が多く訪れます。そうした旅行者から「伝説の地」「桃源郷」(俗世間を離れた平和な世界)と呼ばれるほど、景色がすばらしい地域です。特に、春には杏の花が咲き誇り、ピンク色に染まります。また、ここには「バルチット城」という遺跡があるのですが、その城下町跡を歩いていると、そこはまさにナウシカの世界。イギリスの文豪ジェームズ・ヒルトンの小説『失われた地平線』の理想郷シャングリラのモデルにもなったそうです。

左上写真はフンザの遠景。中央に見えるドーム型のピークがフンザピーク、その隣にちょっと段々になっているところがウルタル。世界的な登山家である長谷川恒男氏が命を落とした山です。1991年10月10日、長谷川氏は、この山で雪崩に巻き込まれ43歳の生涯を閉じました。



パキスタン北部、かつてのフンザ王国があった土地。その中心地、カリマバードの町外れにハセガワ学校はあります。彼はパキスタンの山をこよなく愛していて、もし自分の身に何かあったら土地の人のためになることをして欲しい、と奥様に遺書を残していたそうです。その遺志を実現すべく、奥様と山の仲間たち、そして多くの賛同者により造られたのがこのハセガワ・メモリアル・パブリック・スクールなのです。男女共学、英語教育による私立の小・中学校で、現在は幼稚園児から日本の高校1年生にあたる生徒までが授業を受けています。



# パキスタンから見た日本 日本から見たパキスタン



パキスタンのこと、日本のこと  
みんなで考えてみよう!

- ① パキスタンの人に日本のことを紹介するとしたら、どんなことを紹介しますか?  
日本を表わす3つの要素をそれぞれ考えてみましょう?
- ② では、パキスタンと言えば? パキスタンを表わす3つの要素を考えてみましょう。
- ③ それぞれが考えた日本とパキスタンの3つの要素をグループで共有し、それを基に、模造紙に「パキスタンと日本」というテーマで絵を描いてみましょう。
- ④ さて、P.20と23の絵は、パキスタンの子どもたち(8歳~15歳)が「パキスタンと日本」をテーマに描いた絵です。みなさんが描いた絵と比べてどうでしたか?  
日本のどんな要素が描かれていましたか? パキスタンのどんな要素を描いていますか?  
グループで話し合ってみましょう。
- ⑤ この作業を通して、どんなことがわかりましたか?  
どんなことに気づきましたか? みんなでふりかえってみましょう。

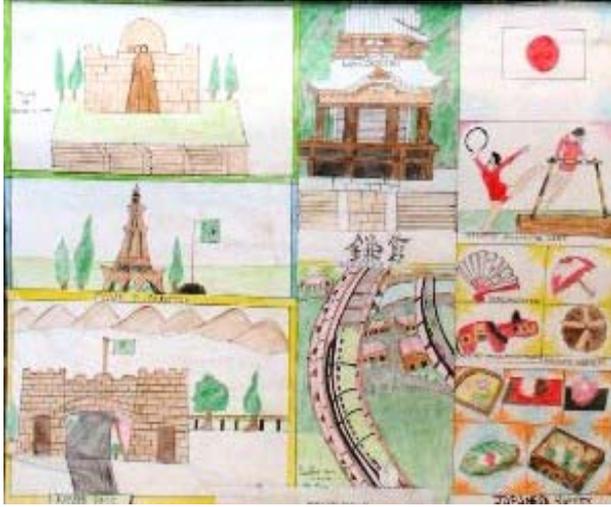


パキスタンの人たちはどんな余暇を過ごしているのでしょうか? お金持ちはイギリスやサウジアラビアなどに旅行、何といても夏休みが3ヶ月あるし、そうでない人たちは、映画や音楽を楽しみます。ちなみに、彼らはどこでも踊れるノリのいい人たちです。そして子どもたちは、クリケットやサッカーを楽しんでいます。

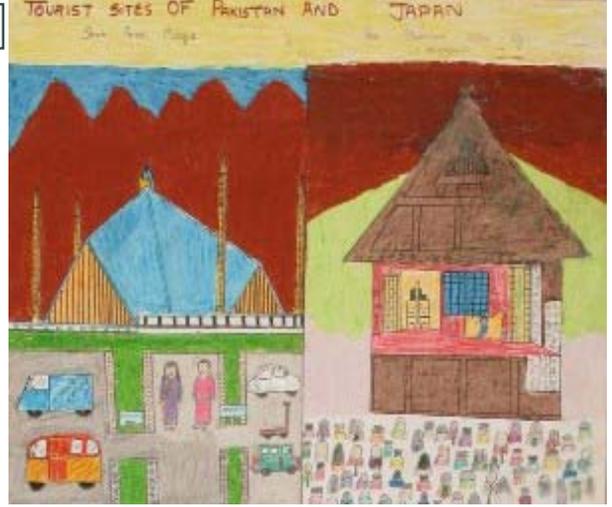


パキスタンや日本について改めて考えるとともに  
国に対して持っているイメージは一面に過ぎない  
ことに気づく

A



B



C



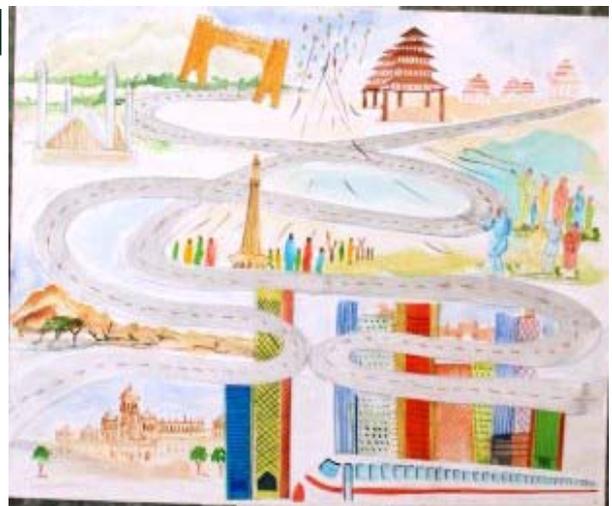
D



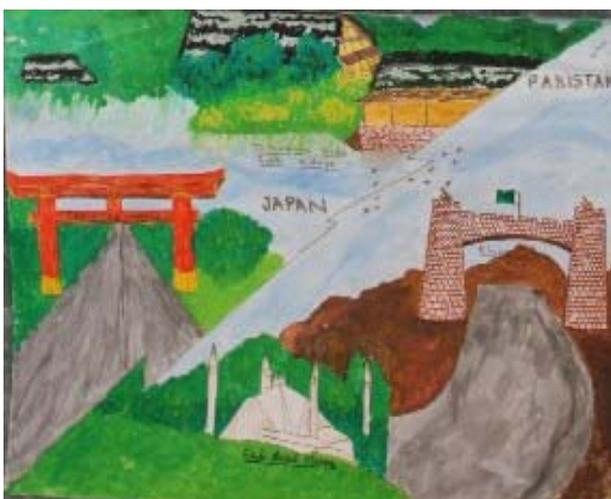
E



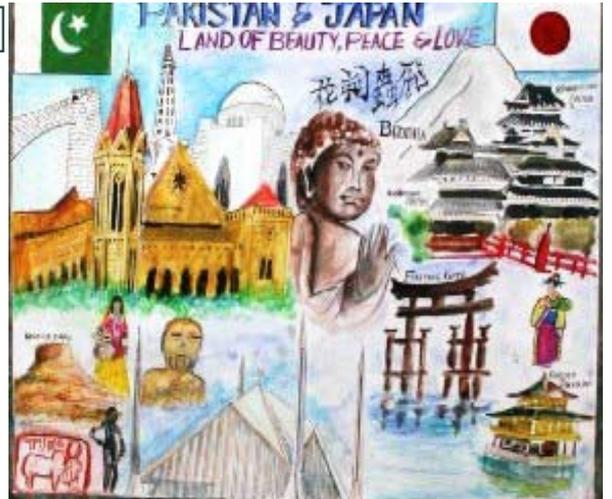
F



G



H



# パキスタンと日本、 誇れるところ・頑張りたいところ



① みんなは日本のこと好きですか？

- ① みんなは日本のどんなところがいいところだと思いますか？  
日本のどんなところを誇らしいと思いますか？  
模造紙を半分に折って、左半分に書き出してみましよう。

- ② では、次に日本のどんなところが課題だと思いますか？  
どんなところがよくなって欲しいと思いますか？  
模造紙の右半分に書き出してみましよう。

- ③ パキスタンで2年間過ごした青年海外協力隊OGの墨さんにパキスタンの誇れるところ、頑張りたいところを聞いてみました。これを聞いてどう思いますか？ パキスタンの印象は、今まで思っていたものと同じですか？感想を話し合ってみましよう。



子ども福祉モデルセンターで  
活動する幼稚園教諭墨さおりさん



パキスタンの多くの人たちが着ている「シャルワール・カミーズ」。膝あたりまでのシャツとゆったりとしたズボンの組み合わせ。最近日本で流行っているチュニック&パンツファッションと似ているそうです。



## パキスタンの誇れるところ by 墨さん

### ① 宗教を大切にしているところ

パキスタンはイスラーム教徒がほとんどですが、子どものころから教を学んでいるため、ほとんどの人がその教をきちんと話すことができます。日本はどうでしょうか？

### ② 自然が豊かであること

K2(カラコルム山脈にある標高8,611mの世界第2位の山)( P.15)やフンザ( P.18)は有名ですが、首都など都会でも緑がいっぱいです。道路に飾られたバラの花壇はとても美しいそうです。

### ③ 家族・地域を大切にしていること

例えば、食事は必ず家族全員で食べます。お父さんが帰ってくるまでみんな待っているのです。さて、日本ではどうでしょうか？

### ④ 自分の国が1番だと言えること

みなさんは、日本が1番だと胸をはって言えますか？日本人であることに誇りを持っていますか？

パキスタンの人々は、パキスタンという国に誇りを持っています。いろいろ問題はあるけれど、でもやっぱりパキスタンは1番だと思っています。すばらしいですね。

### ⑤ どんなときも笑顔で (\*^\_^\*)

パキスタンの人々に皆さんはどんなイメージを持っていますか？男性はひげを生やしていて、彫りの深い顔で、何となく眼光鋭く、ちょっぴりこわい感じ？でも、実際には全然違うのです。パキスタンの人々はとにかく陽気。ノリがよく、明るい人たちなのです。怒られても「まあ、まあ、まあ」とポジティブに笑っているそうです。お酒を飲んでいないのにこんなに陽気だなんて、この人たちがお酒を飲んだらどうなっちゃうんだろうと思うくらいだそうです。まさに、「お酒がなくても酔える国」なんですネ。

## パキスタンの頑張りたいところ by 墨さん

### ① 医療・教育・福祉は充実されつつあるが、浸透していない

日本を始め、韓国やイギリス、そして世界的なNGOの支援を得て、医療、教育、福祉は改善されつつありますが、それでもまだまだ行き渡っていません。

### ② 貧困層への生活保障

とも関係しますが、パキスタンは貧富の格差がとても大きな国です。中産階級がないといってもいいでしょう。「明日の生活がわからない」...それがパキスタンの貧困層の人たちの暮らしなのです。

### ③ 国境地域での紛争・テロの解決

最近、パキスタンの情勢は不安定ですが、ほとんどのパキスタン人は、こうした紛争やテロを何とかしたいと考えています。イスラーム教の教でも争うことはよくないとあるのです。

### ④ 軍事政権の改善

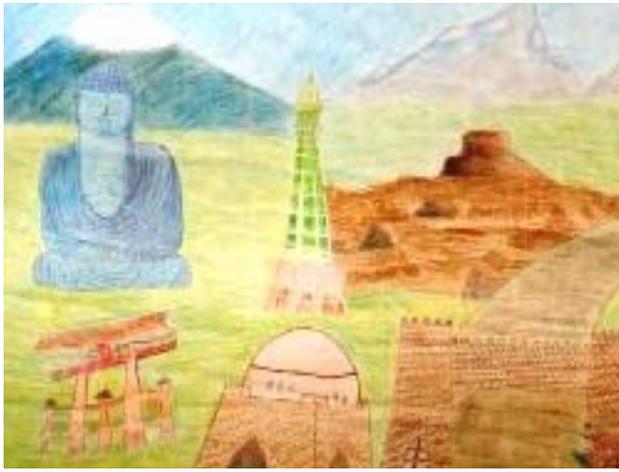
パキスタンでは軍隊がとても力を持っています。パキスタンの国家予算の多くが軍隊に使われているのです。それが、医療、教育、福祉が改善されない理由でもあるのです。

### ⑤ たくさん良い所があるのに、知ってもらうことができていない

日本に伝わってくるパキスタン情報は、テロや紛争に関するものが多いので、どうしてもそうしたイメージだけで捉えがちですが、それはパキスタンのほんの一面にすぎません。今回教材作成にあたったメンバーの感想も「パキスタンって素敵なお国だね」でした。ここに挙がっていることも、あくまで墨さんが見たパキスタン。わたしたちが「日本」を一言で説明できないように、パキスタンを一言で説明することはできません。伝わってくる情報だけがその国のすべてではないのですネ！



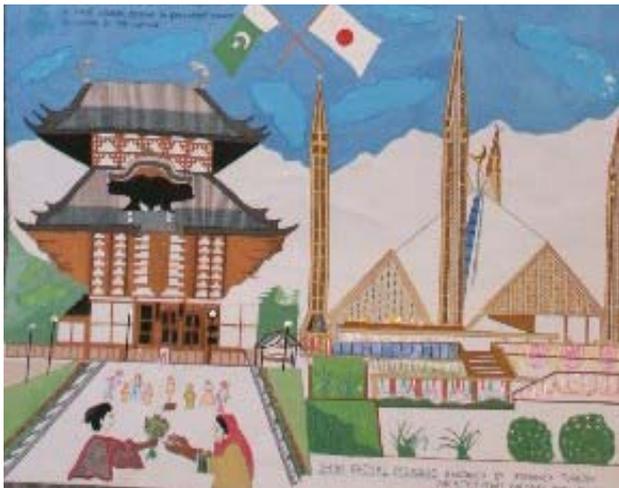
I



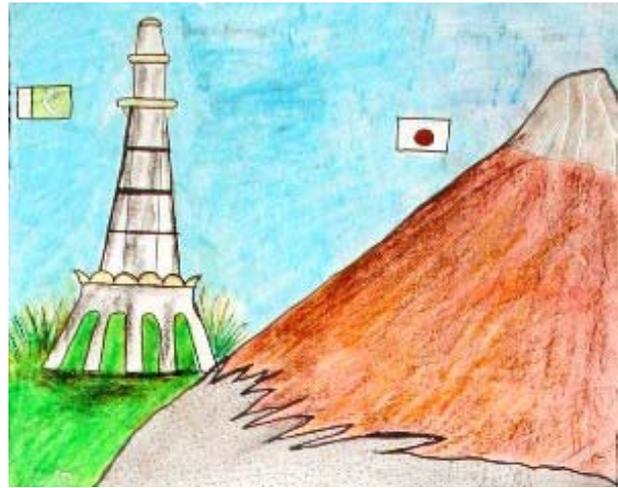
J



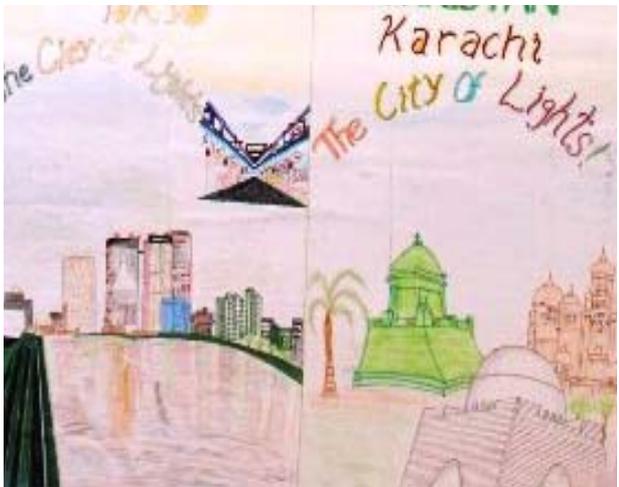
K



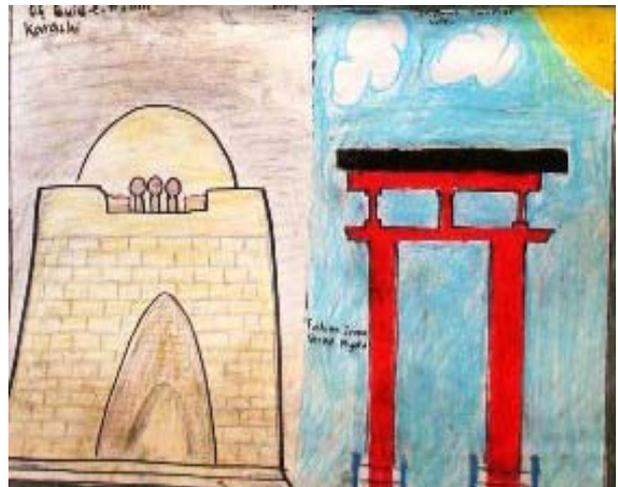
L



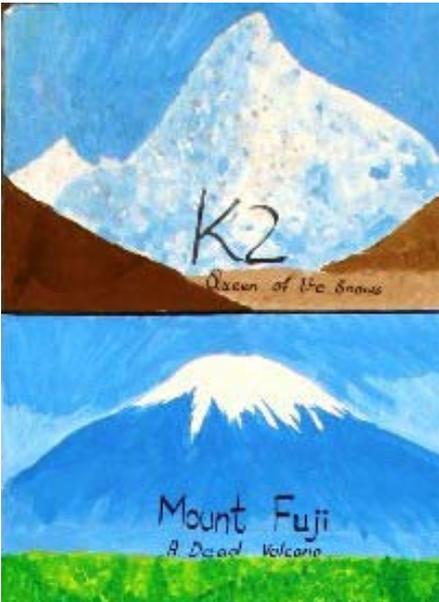
M



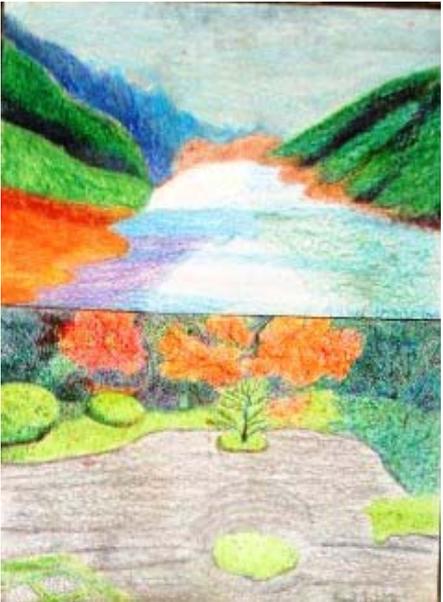
N



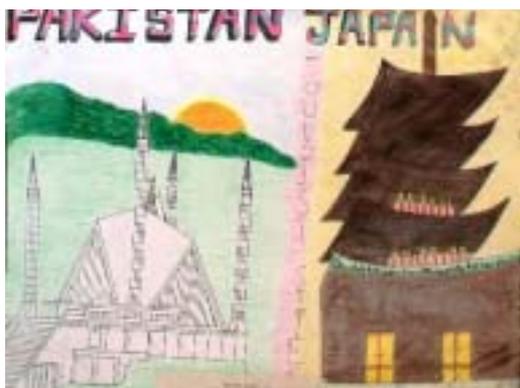
P



Q

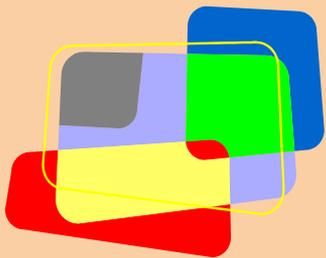


O



## 第3章

一緒に考えよう！こんな課題



# 学校に行きたい！



さて、クイズです！みんなで考えてみましょう。

- ① パキスタンの人口は約1億6千万人ですが、そのうち農村部に住んでいるのは何%ぐらいだと思いますか？  
A. 25%    B. 45%    C. 65%
- ② パキスタンで、電話を使っている人の数は、100人のうち、何人だと思いますか？  
A. 12人    B. 22人    C. 32人
- ③ パキスタンの成人の識字率は何%だと思いますか？  
A. 30%    B. 50%    C. 70%
- ④ パキスタンの男性の初等教育就学率は99%ですが、女性の初等教育就学率は何%だと思いますか？  
A. 55%    B. 75%    C. 95%
- ⑤ 次は想像してみましょう。パキスタンの子どもたち、特に女の子が学校に行かない理由はいくつがあります。どんな理由だと思いますか？できるだけたくさん考えてみましょう。
- ⑥ 「大きくなったら先生になりたい」(P.27)を読んでみましょう。どんな感想を持ちましたか？みんなで話し合ってみましょう。
- ⑦ 学校に行きたくても行けない子どもたちがたくさんいるという状況をなくすために、わたしたちにできることはあるでしょうか？考えてみましょう。



パキスタンの人たちが楽しむ音楽は、ヒンディムービー(インド映画)の音楽や宗教的な音楽、バザールや移動中のバスなどで日常的に音楽が流れている。音楽大好き人間なのだ。



- ① C. 65%
- ② A. 12人
- ③ B. 50%
- ④ B. 75%

- ⑤ 家事手伝いや農業の手伝いをしているため  
 文化的慣習・ジェンダー(社会的・文化的な性別)による差別  
 (女子は教育を受けず家事をするという文化など)  
 学校までの距離が遠いため  
 学校での衛生施設が未整備なため(女子トイレがないなど)  
 安全確保が難しいため  
 教師が不足しているため(女子児童には女性教師が望まれます)  
 など



日本ユニセフ協会ホームページ『世界子ども白書2008』  
『地球のともだち ユニセフワークブック』財団法人日本ユニセフ協会発行

### 都市部と農村部との格差・男子と女子の格差

パキスタンでは、人口の3分の2が農村部に住み、人口のおよそ半分が子どもです(2003年)。過去10年の間に、乳児死亡率も幼児死亡率も減りましたが、貧困率は33%で、以前より増加しています。子どもの3分の1は栄養不良、定期予防接種を受けている子どもの数も半分にとどまっています。小学校に通っている子どもの数も、就学年齢児の半数にとどまり、せっかく就学しても、その半数は中途退学している状態です。

また、都市部と地方との格差、男女格差が大きく、例えば  
 2004 - 05年の初等教育純就学率は、都市部が67%、農村部が47%です。  
 2000 - 06年の初等教育純就学率は、男性が77%、女性が59%です。



日本ユニセフ協会ホームページ  
『貧困プロファイル』(国際協力銀行2007年10月)  
『世界子供白書2008』(ユニセフ)

### 児童労働の問題

就学年齢に達した児童(多くの場合5~14歳)の労働を「児童労働」と言います。  
 国際労働機関(ILO)によれば、世界で約2億人以上の子どもたちが働いており、それは6人に1人が働いていることを意味します。特に、強制労働、売春、武力紛争への徴兵(子ども兵士)など、最悪な状態にある子どもがそのうちの3分の2を占め、国際的な問題となっています。インドや中国、アフリカサハラ以南の地域が多いとされていますが、パキスタンも例外ではありません。

そんな児童労働の状況をなくそうと行動した少年がいます。カナダに住むグレイグ・キール・バーガー12歳。彼がしたことは、現状を勉強する、世界のリーダーや企業などに手紙を書いて協力をお願いする、自分のおもちゃを売ったお金でインドに行って現状を見る、カナダの総理大臣に会って現状を訴え学校を建てるお金を協力してもらう、世界中で講演し多くの人に現状を知ってもらう、などでした。



- ⑥ まずは、「現状を知る」というところからなら始められそうですね。( P.30「もしも学校に行けなかったら」参照)



パキスタンの学校には給食はありません。ランチBOXを持って学校に行きます。BOXの中身はビスケットかお金。1~5ルピーで学校前の屋台でお菓子を買うことができます。ちゃんとした昼食は、お祈りが終わってから2時ごろ家で食べます。

## 「大きくなったら先生になりたい」 ナズ・ビビの夢がかなうころ パキスタン・バローチースタン州の女子教育



「大きくなったら先生になりたいわ」11歳のナズ・ビビはにっこり笑って言いました。ここはパキスタン、バローチースタン州のシビィ地区にあるマリアバッド村。ナズはこの村にあるコミュニティ・サポート・プロジェクト学校の2年生です。11人きょうだいの末っ子で、7人のお兄さんと3人のお姉さんがいます。

「私のお父さんは部族の長なんです」ナズはブブカにあいた穴を隠そうとしながら、プライドをのぞかせて言います。「以前はこの丘にたくさんの土地をもっていました」

「でも、問題に巻き込まれてアフガニスタンに引っ越さなければなりませんでした。私はその時、まだ生まれていませんでした」熱気の立ち込める中を指差しながら、

彼女は言葉を続けました。シビィの町から25キロ離れたところにあるマリアバッドは、砂漠地帯で旱魃(かんばつ)が厳しく、夏場には気温が摂氏52にもなる、世界でも最も暑い場所のひとつです。ナズのお父さん、ジャラル・カーンは、このバローチースタン中心部に住むマリ族の一派の長です。黒いあごひげと情熱的な目、そして大きなターバン。どこから見ても、紛れもなくバローチ族の男性です。ただひとつの点を除いては、5年前、ジャラル・カーンは部族の女の子たちのために学校を開設したのです。

バローチースタンは、州人口の84パーセント近くが農村部に住む、パキスタンで最も人口の少ない州です。地理的に遠く離れ、インフラと通信設備も不十分なために周りの地域から隔絶されて、バローチースタンの多くの地域には何百年も続く部族の習慣や風習が今も残ります。

多くの部族では、若い女性や女の子に家族の名誉がかかっていると信じられています。男性は自分たちの評判を損ね、部族や家族の名を汚すような事態が起こることを避けるため、彼女たちを外の世界に触れさせないようにしています。その結果、女性の移動が制限されています。女の子に期待されるのは、子どもを産み、育て、家事に従事することだけです。親の多くは、男の子よりも不利な立場に置かれている女の子が教育を受けることの重要性を特に理解していません。

男の子と女の子の教育を妨げる要因はほかにもあります。貧困や児童労働、通学の距離が長いこと、安全の問題、不適切なカリキュラム、不衛生であること、女の子用のトイレがないこと、そして水の供給が十分でないことなどです。バローチースタン州の男性の識字率が34パーセントなのに対して、女性の場合は14パーセントであるという事実に現れているとおりです。

ですが、ジャラルは違いました。男の子にも女の子にも教育が重要であるということを理解していたのです。

「私は20年間の月日をアフガニスタンで過ごしました。私の兄弟はロシアに行き、歯医者になりました。今日では、彼の子どもたちは私の子どもよりも恵まれた生活をしています」彼はあごひげをなでながら言います。「私自身は教育を受けていなかったの、妻といっしょに畑で作物の刈り入れの仕事をして日に100ルピー(1.5米ドル)のお金を稼ぎ、子どもたちを食べさせているのです。子どもたちを自分と同じように照りつく太陽の下で働かせたくはありません。女の子たちも学校の先生になってお金を稼ぐことができるのですから」

その「学校」はジャラルの所有する土地の一画に建てられ、泥で作った小さな部屋がひとつあるだけです。コミュニティの全員が集まってこの学校を建てました。そして一年もたたない内に、オーストラリア政府とユニセフが支援する、バローチースタンの女の子たちの就学率改善を目指すプロジェクトの一部となったのです。



学校で授業を受ける子どもたち  
©UNICEF Pakistan/2003

このプロジェクトは1999年にバローチースタン州の4地区、シビィ、カラート、ピシン、クズダールで始まりました。30,000人の女の子を初等学校に入学させ、なおかつやめさせないことが目標です。歩いて通える距離に学校がないところでは、プロジェクトが支援してコミュニティ・サポート・プロセス(CSP)を通じ、80校の学校を設立しました。ジャラルの学校はそのうちのひとつです。

ナズ・ビビの学校の20歳になる先生、ナジュマが学校を案内してくれました。泥でできた小屋の外の一画が教室として使われています。太陽の日差しをさえぎろうと、女の子たちがビニールの袋を縫い合わせて一時しのぎの屋根をこしらえています。毎日のように風に吹き飛ばされてしまい、同じことを何度も繰り返さなければなりません。



11歳のナズ・ビビ  
©UNICEF Pakistan/2003

教室のスペースは、5つのクラスが仲良く分けあっています。ですが、初等クラスは教室のスペースの中に入りきらず、ぼろぼろの葦のマットを引いて、教室の外の日の当たらない壁際の場所を使っています。黒板は枝で作ったイーゼルのような台に乗せてあります。厳しい気候と貧困の中にもかかわらず、教育が受けられるようになったことや、勉強を通じて生活がどれほど変わったかを語るとき、女の子たちの顔には笑顔が浮かびます。

「学校が始まったころ、女の子たちは一緒に座るのを嫌がって、いつもけんかをしていました」とナジュマは言います。「今では年上の女の子が年下の女の子に、どんなカーストに属していても、学校ではみんな平等なのだということを教えているんです」

ナジュマがジャラルの学校が始まった経緯を説明してくれました。「コミュニティの助けを得て学校を建設した後、ジャラルはその学校を運営してくれる先生を必要としていました。そして私を訪ねてきたのです。私は大学入学試験を終えた後で、何もすることもなく家で過ごしていたのでその申し出を受けました。最初は何もない状態から授業を始めましたが、一年の間にユニセフとAUSAID(オーストラリア国際開発庁)の支援を受けてパロチスタン州政府が始めた教育開発プログラムに参加しないか?とわれたのです」

その後まもなく、女の子たちは教科書と黒板を手に入れました。ナジュマのお給料は、最初の2年間ユニセフが負担し、その後は州政府が払うようになりました。

ジャラルと彼のチームは、村の教育委員会を立ち上げました。委員会は部族の年配者や子どもを持つ親から成り村の人々に女の子たちを学校に行かせるよう働きかけるのです。ジャラルの奥さんはその委員会のリーダーです。

委員会は基礎的な教材や学用品や安全な飲み水、ジュート製の手作りのフロアマットを供給したり、校舎のメンテナンスと清掃を請けおい、3年の間に学校に通う女の子の数は15人から154人に急速に増えました。

ジャラルは彼が自分で設置した水道の蛇口を見せてくれました。「女の子たちが学校で何を学んでいるのか、親が自分の目で見ることができるよう、学校の近くに設置したんです。いまだに学校に来られない女の子たちも、水汲みを理由にして、時間のある限り授業に参加することができますよね」彼はにっこり笑って付け加えました。「上の娘たちが思いついたんですよ」

委員会のメンバーの一人であるハジャラ・ビビは、ジャラルの学校に通うようになってから気づいた娘たちの変化について話してくれました。

「娘たちは以前は友だちといっしょに一日中遊んで走り回っていました。私たちが農作業から戻ってくると、家の中はめちゃめちゃで、食事の準備もしていないし、お帰りなさいのひと言も言わなかったんです。今では私たちが朝起きると、娘たちは家の掃除をして、私たちに歯を磨いて、少なくとも2日に1回は水浴びをするようにと言うんです。私たちが農作業から帰ってくるのが見えると、水を持ってきてくれて、ほかにいるものはないかと聞くんです。とても思いやりのある子どもたちになりました」

別の女性も、今では男の子よりも娘のほうがよく手伝ってくれるようになったと言います。「村の人たちがみんな薬の説明書を読んでもくれるよう娘に頼みにくるんです。娘は英語ができますから、将来は立派なお医者さんになってくれるでしょう」彼女は胸を張って言います。

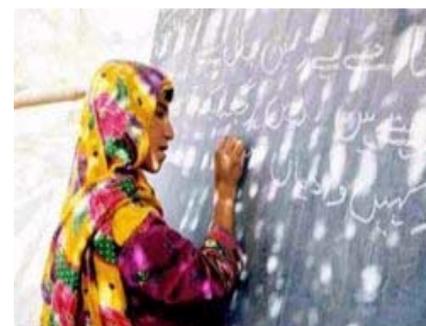
わずか3年の内に30,000人の女の子が学校に就学し、きちんと先生のいる学校80校が設立されました。これら4地区では、平均86パーセントの子どもたちが学校をやめることなく通いつづけています。

このプロジェクトでは、次の3年間、特に教師の研修、教育の質、教育環境の向上に重きを置いて地方議会の参加を促していく予定です。いつの日か、泥でできた小屋をしっかりと校舎に建て直し、塀を作り、女子と男子のトイレを別々にする計画もあります。子どもたちがただ学校にくるだけでなく、初等教育を修了できるようにするためです。

教師になりたいという娘の夢を、ジャラルはとても誇りに思っています。妻は夢をかなえることができませんでした。「どんな運命だとしても、娘たちは食べ物に困ってひもじい思いをすることはないでしょう。教育という宝物を授けられたのですから」

カーンだけではなく、マリアバッドのコミュニティ全体が、女の子たちに教育を受けさせることの重要性を認識しています。教育は、女の子たちの運命を変え、よりよい将来を切り開くためのカギなのです。

2004年7月31日 ユニセフ・パキスタン事務所



教室のひとこま。  
© UNICEF Pakistan/2003

# 学校に行きたい！パート2

① みんなはサッカーは好きですか？ 次の文章を読んでみましょう。



## 「サッカーなんか、したことないよ」

汗をだらだら流し、やせた少年(11)はボールを縫っていた。昼すぎに学校から帰ると、庭先に出した簡易ベッドの上で10本もある2本の針を操り、五角形や六角形の革片を縫い合わせる。報酬はボール1個で8インドルピー(約24円)。少年はもう2年もこの仕事を続け、家計を助けていた。

パキスタン国境に近いインド北部の町、ジャランダール郊外。ニューデリーに本部を置く国際NGO(非政府組織)「グローバルマーチ」のスタッフ富田沓子(とうこ)さん(24)は昨年7月、少年の村を訪ねた。泥とれんがで造られた粗末な家が、3、40軒、軒を並べる村では、子どもが働くことは珍しくない。カーストという身分制度が残るインドで、その村には最下層に位置する人々が住む。

大人が丸一日かけて縫えるボールは3個程度。一日の収入は法律で定められた最低賃金の半分にも満たない25ルピーほどのことも多く、ミルクとパンを買えば、すぐに消える。長年、硬い革を縫っていると、人さし指にタコができ、ひどくなると指が湾曲する。富田さんが見た手は、どれもボロボロだった。5年前からボールを縫っている16歳の少女の言葉が富田さんの耳に残る。少女は学費を払えずに中学校を中退した。「本当はやめたくなかったんだけど」



📖 国際協力NGOわかちあいプロジェクトのホームページより抜粋

- ① これはインドの少年の話でしたが、パキスタンでも同じようなことがあります。みんなはどう思いましたか？ 感想を話し合ってみましょう。
- ② では、みんながもしも学校に行けなかったらどんなことが起こると思いますか？ どんな風になると思いますか？ 模造紙に思いつくものをできるだけたくさん書いてみましょう。
- ③ みんなは学校に行きたいですか？ 学校に行きたくても行けない子どもたちのために、できることはありますか？



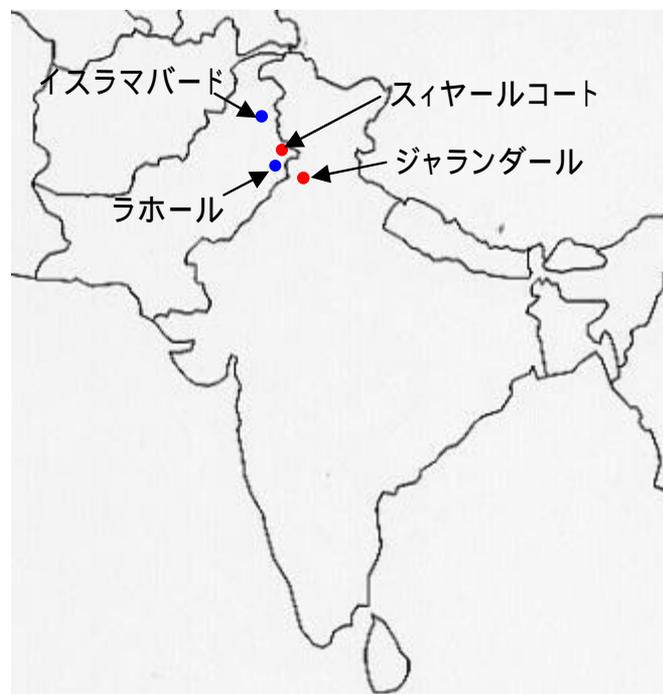
世界一背の高い女性がパキスタンにいます。身長218cm、足のサイズ30.5cm、指の長さ11cm、手の長さ107cm、足の長さ137cmですって!!(2003年ギネスブック)



## サッカーボールの生産

サッカーボールは、パキスタン、インド、中国、インドネシア、タイ、メキシコ、スペイン、ドイツ、日本などで生産されています。サッカーボールには、機械で張り合わせるものと、手縫いのものと2種類あるのですが、公式試合では、手縫いのボールを使わなければいけないというルールがあります。しかし、先進国では、機械で張り合わせるボールしか生産していません。人件費がかかるからです。手縫いのサッカーボールは開発途上国で生産されていますが、中でもパキスタンが約70%、中国が約15%、インドが約10%を占めています。

パキスタンでのサッカーボールの生産は、パンジャブ地方のシヤールコート市とその周辺の農村部で始まり、それがインド側のパンジャブ地方に広がっていきました。この地域はイスラーム教徒が多かったからです。ヒンズー教徒は宗教的理由から牛を殺して皮を利用することなどあり得ないため、そうした職業に就いていたのはイスラーム教徒だったのです。



社団法人 部落解放・人権研究所

## 貧困とカースト制度

サッカーボールの生産に携わっている子供たちの家庭は例外なく貧困に苦しんでいます。そして、その多くが「ダリッド」と呼ばれる人たちです。「ダリッド」というのは、「虐げられている人たち」「不可触民」という意味、つまり社会の最下層に属し、「触るとけがれる存在」とであると差別されてきた人々なのです。

こうした身分制度はインドにおけるカースト制度の名残りで、パキスタンが独立したとき、カースト制度の最も低い地位にあったダリッドの多くがイスラーム教に改宗したのですが、改宗しても社会的に身分が低い状況は変わらず、その子どもたちも貧困から逃れることができないのです。

## もしも学校に行けなかったら

もしも学校に行けなかったとしたら、どんなことに困ってしまうでしょう？

「文字を読むことができない」「自分の名前さえ書くことができない」「簡単な計算もできない」

そうすると、薬の説明が読めなくて間違えて飲んでしまうなど健康に生きていくために必要な知識を得ることができなかつたり、なかなか仕事に就くことができなかったり、時にはだまされてしまうこともあるかもしれません。学校に行かなければ、友達をつくることもできないし、社会や世界の情報を得ることもできません。ユニセフの調査によると、女性の識字率が高い地域では、乳児の死亡率が低いそうです。

そうした問題が起こらないように、どんなことができるのでしょうか？ 学校建設や施設を整えるための支援、ノートや鉛筆、教科書などの寄付、先生の教育、女の子が学びやすい環境の整備など、さまざまな国際協力を行うことができます。

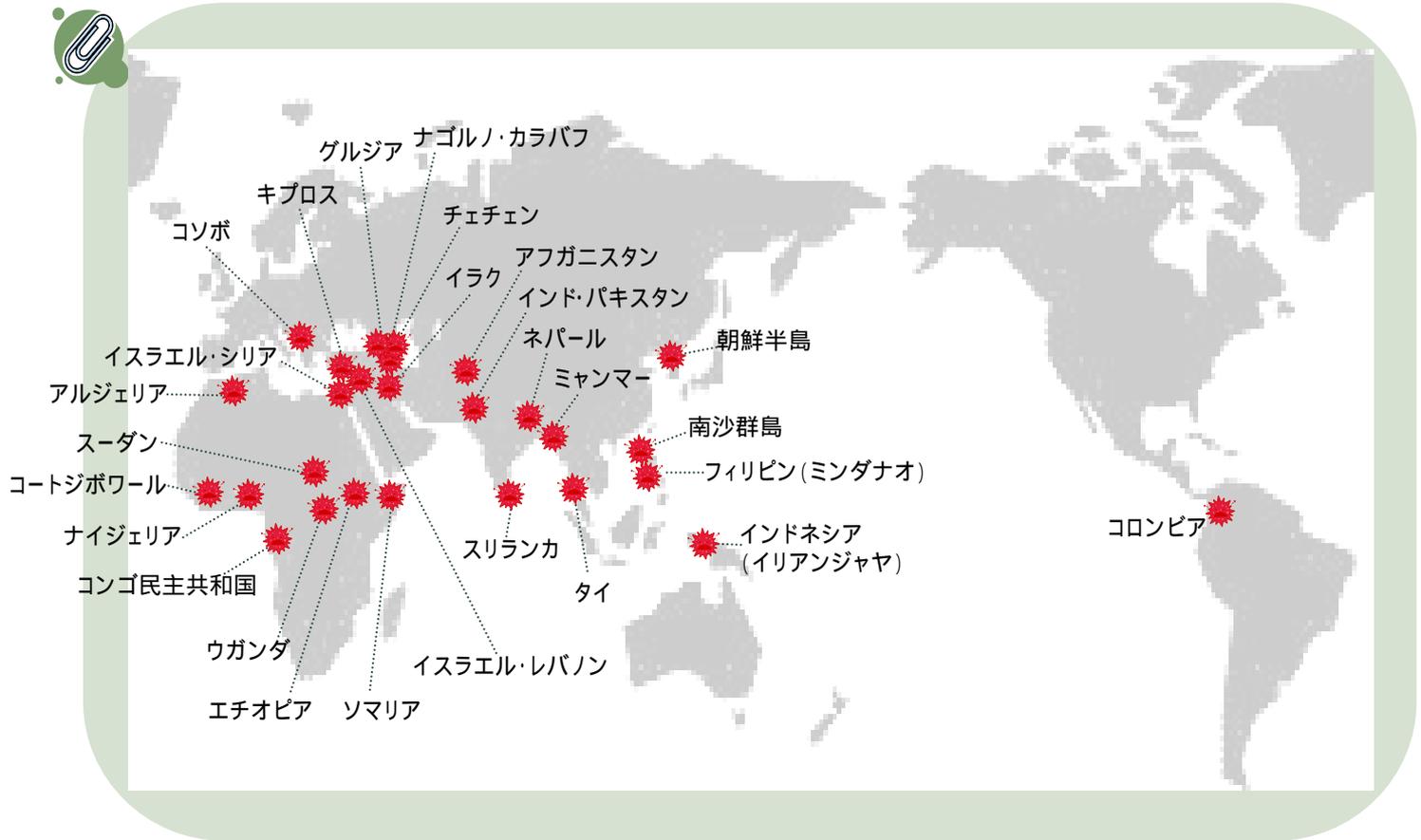


パキスタン紙幣は、1000、500、100、50、20、10ルピーの6種類あります。1ルピーは約1.64円(2008年3月)。どの紙幣にも同じ人物が描かれているのですが、だれでしょう？ 答えは、パキスタン建国の父、ムハンマド・アリー・ジンナー氏。国民は尊敬を込めてカーイデ・アーザム(「偉大なる指導者」の意)と呼びます。

# 平和について考えよう！



さて、下の地図は何を表した地図でしょう？



- 1 これは最近起こった、または現在まだ続いている紛争地域を  で示した地図です。<平成19年度防衛白書資料(ミリタリー・バランス2007による)を基に作成>この地図を見て皆さんはどう思いますか？グループで話し合ってみましょう。
- 2 インドとパキスタンの間で起こっている「カシミール紛争」も  の一つです。パキスタンは1947年に独立しましたが、それ以降何度も戦争を体験しています。残念ながら、現在もパキスタン情勢は不安定ですが、その背景には、さまざまな民族や宗教のぶつかり合い、複雑な地理的条件があります。
- 3 ここで、「平和な社会」というのはどういう社会のことをいうのか、みんなで考えてみましょう。何があれば、平和だと思いますか？日本は平和ですか？
- 4 では、そんな「平和な社会」をつくるために、どうすればいいと思いますか？自由に話し合ってみましょう。



イギリス植民地時代の名残として、パキスタンではクリケットが人気があります。子どもたちがクリケットをして遊ぶ姿が、どこへ行っても見られます。



## 最近の主な紛争・対立など

世界で3人に1人は戦時下に暮らしている(2002年)

世界中の紛争地帯で戦う子ども兵は30万人

いずれも『世界を見る目が変わる50の事実』草思社

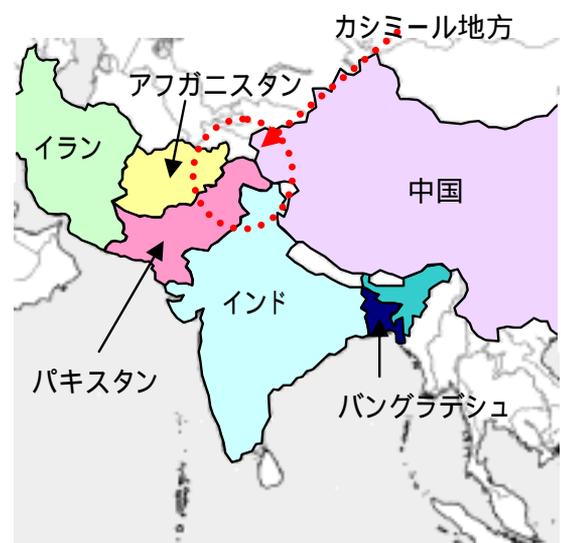
- イスラーム過激派のテロ活発化(アルジェリア)
- スーダン・ダルフル紛争(スーダン中央政府と反政府勢力)
- コートジボワール内戦(2003年終結)
- ナイジェリア産油地帯紛争
- コンゴ民主共和国内戦(1999年停戦合意)
- エチオピア・エリトリア紛争(2000年休戦合意)
- ソマリア内戦(2006年12月暫定政府が首都モガディシオを制圧)
- イスラエル・レバノン紛争(2006年イスラエル軍撤退)
- コソボ紛争(旧ユーゴ連邦からの独立を目指すアルバニア系武装勢力とユーゴ連邦政府およびセルビア共和国政府)
- キプロス紛争(南部ギリシャ系住民と北部トルコ系住民の対立 南北に分裂)
- グルジア紛争(国内のアブハジアと南オセチアで分離独立運動)
- ナゴルノ・カラバフ紛争(アゼルバイジャンとアルメニア武装勢力の対立)
- チェチェン紛争(ロシア政府とロシアからの独立を目指すチェチェン武装勢力との対立)
- イラク軍事作戦(イラクと英米などとの対立)
- アフガニスタン内戦(ターリバーンと反ターリバーン政府勢力との対立)
- 2001年いったん終結したが、2007年11月には自爆テロ発生)
- カシミール紛争(ジャンム・カシミール地方におけるパキスタンの武装勢力とインドとの対立)
- ネパール反政府運動(2006年和平成立)
- ミャンマー少数民族分離独立運動
- スリランカ内戦(少数派タミル人の分離独立をめぐる武装闘争)
- タイ南部少数民族分離独立運動(2007年2月テロ発生)
- 朝鮮半島(北朝鮮の核開発をめぐる問題)
- 南沙群島(南沙群島の領有をめぐる紛争)
- ミンダナオ紛争(イスラム教徒のフィリピンからの分離独立運動)
- イリアン・ジャヤ独立運動(ニューギニア島の西半分を占めるイリアン・ジャヤのインドネシアからの分離独立運動)
- コロンビア反政府運動(左翼ゲリラと右派民兵組織との対立)

平成19年度防衛白書および「今がわかる時代がわかる世界地図2008年版」(成美堂出版)を参照

## カシミール紛争

カシミールは、インド、中国、アフガニスタン、パキスタンの国境に位置する山岳地方です。標高8000m級の山脈がそびえ、中国との国境には世界第2のK2( P.15)がそびえています。高級織物のカシミアは、この地域のカシミアヤギの毛から作られます。

そんなカシミールをめぐる、インドとパキスタンの間でこれまで3度にわたる紛争が起こり、3度ともパキスタンが敗北しました。そして、今もインドとパキスタンは緊張関係にあるのです。



## 平和な社会とは？

「平和な社会」と言えば、例えば「みんなの人権が守られている社会」「暴力がない社会」「いじめ・差別がない社会」「みんなが笑っていられる社会」「環境破壊がない社会」などいろいろな要素が考えられます。「戦争がなければ平和なのか?」という視点で考えると、極度の貧困、政治的な抑圧、人種差別、飢餓などがある状況は「平和」とは言えないかも知れません。日本は確かに戦争はありませんが、「平和な社会」と言い切れるでしょうか?



# フォトギャラリー

墨さおり



バザール 村のバザールにはたくさんの八百屋さんがあります。毎日の食材をここで買います。



## パキスタンのトラック

パキスタンでよく見られるトラック。いろいろなものをいろいろな地域に運びます。牛なら3頭ぐらい載せることができます。現在は、首都への乗り入れが禁じられています。



## イード(P.12 )

パキスタンで起きた大地震の後のイード(ラマダーン明け)。イードのお祝いに向けて被災した方たちへの寄付を呼びかける垂れ幕が、街のいたるところにかけられました。



## 牛とモスク

モスクで飼われている牛。こんな光景が日常に見られます。でも、最終的には食料として食べられてしまうとか...

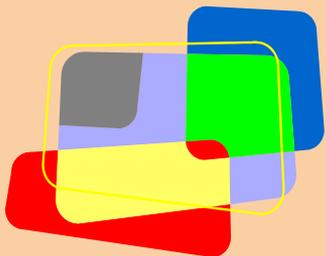


## ガラ

刺繍屋さんやおみやげ物屋さんなどで見かけるいわゆるワッペンのようなもの。服の襟と袖口の刺繍で、これを布に張り合わせて服を作ります。

## 第4章

そして未来へ



# もしも外国とのつながりがなくなったら

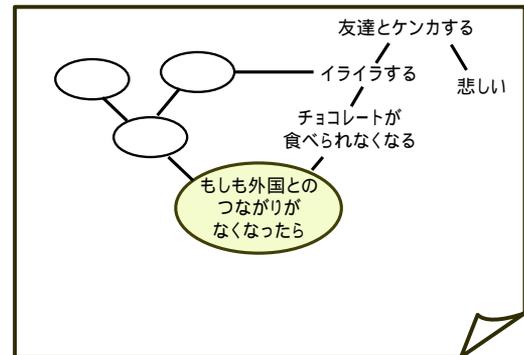


「国際交流」は何のためにするのでしょうか?外国に行くこともないし、周りに外国人もいないから、「そんなの関係ない」と思っている人はいませんか?



- ① 今朝起きてからここに来るまで、使った物、食べたり飲んだりした物、話した人、行った所...何でもいいので、自分が関わった物、人、ことなどをみんなでどんどん出し合って、黒板に書き出してみましょう。
- ② いくつ書き出せましたか? 書き出したものを見てどう思いましたか? 思ったこと何でもいいので、感想を全員で話し合ってみましょう。
- ③ ではその中で、外国とのつながりがなくなってしまうものはありますか? 外国とのつながりがなくなってしまうものを、×で消してみてください。いくつ残りましたか?

- ④ それでは、① ~ ③ で考えたことも頭におきながら、もしも外国とのつながりがなくなったらわたしたちの生活はどうになってしまうのか、4~6人のグループに分かれて考えてみましょう。



それぞれのグループで模造紙を1枚ずつ用意して、真ん中に「もしも外国とのつながりがなくなったら」と書き込んでください。そこから、どうになってしまうか思いつくことを

書き、さらにそれがどんな風につながっていくのか派生させて考えてみましょう。

例えば、「もしも外国とのつながりがなくなったら チョコレートが食べられなくなる イライラする 友達とケンカする 悲しい」もちろん、悪いことばかりではないかもしれません。「もしも外国とのつながりがなくなったら 英語を勉強しなくてもいい 伝統的な美しい日本語が受け継がれていく」他の人が書いた意見に付け加えたり、つなげたりしながら、自由な発想でどんどん広げていってください。

- ⑤ 各グループで考えたことを発表し、みんなで共有しましょう。
- ⑥ 他のグループの発表を聞いてどう思いましたか? 感想を話し合みましょう。
- ⑦ では最後に、今までやってきたことをふりかえりながら、「何のために国際交流をするのか?」1人ずつ、書いてみましょう。

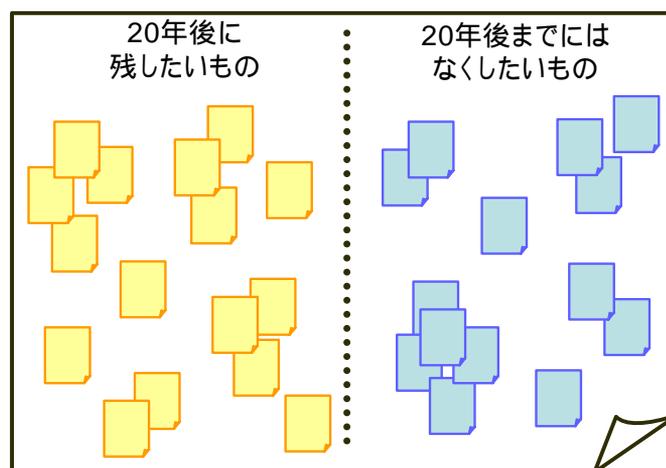


❓ 未来を創るために自分に何ができるか考えてみましょう。

① 今地球にある物またはことで、「20年後に残したいもの」、「20年後までにはなくしたいもの」は何ですか?それぞれ3つずつ考え、付箋紙1枚に1項目ずつ書き出しましょう。その時、「残したいもの」と「なくしたいもの」は違う色の付箋紙に書くとわかりやすいでしょう。

② 4~6人のグループに分かれましょう。

各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「残したいもの」、右側には「なくしたいもの」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。

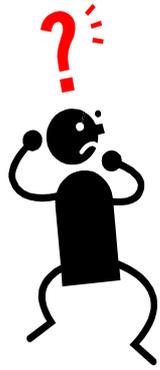


③ 各グループから出た意見を発表し、全員で共有しましょう。

④ では、20年後そうした地球を実現するために、今わたしたちにできることは何でしょう?自分がやろうと思うことを書き出してみましょう。

⑤ 全員で共有しましょう。

もしも外国とのつながりがなくなったら？



- 派生図を描いてわかったこと  
『もしも外国とのつながりがなくなったら...』
- ・良いことも悪いこともある
  - ・日本は食糧と石油の部分で大きく影響を受ける
  - ・「お楽しみ」が減る(映画、音楽、旅行、スポーツ)
  - ・文化的な豊かさが減る
  - ・世界の様子が見えなくなり不安になる
  - ・資源が減る(輸入大国日本)
  - ・世界の良さを知らないと日本の良さも見えなくなる

20年後に残したいもの・20年後にはなくしたいもの

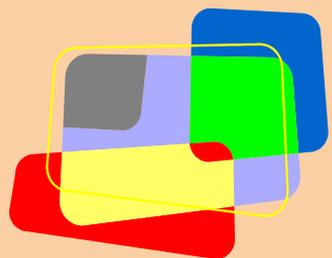
20年後に残したいもの

豊かな食 / 伝統文化 / 交流・共生 / 人とのつながり / 自然環境 / 便利さ / 希望 / やすらぎ  
 問題解決 協力・協働 非暴力  
 安全で豊かな環境 / 暮らしやすい環境 / 娯楽  
 平和 / 笑顔

20年後にはなくしたいもの

環境破壊 / 貧富・格差 / いじめ / 差別 / 犯罪  
 病気 / 武器 / 戦争・紛争 / 核 / つめこみ主義  
 人間よりお金が大事にされる、そんな社会イヤだ！  
 安全でない食

# 参 考 资 料



# 目で見るパキスタン



緑の地色はイスラーム教の聖なる色で繁栄を表し、白は平和を意味するとされ、月は発展、星は光と知識を表すとされている。また、左側の白い部分は国内の宗教上の少数国民(イスラーム教徒ではない人々)を意味し、同じ国民として大切にしていることを表している。

## ●人口●

 158.2百万人(2007年)



 128.0百万人(2006年)



## ●面積●

 796,000km<sup>2</sup>  
(日本の約2倍)

 377,887km<sup>2</sup>



## ●言語●

ウルドゥー語(国語)

## ●通貨●

パキスタン・ルピー

## ●気候帯●

砂漠気候  
ステップ気候

## ●平均気温●



## ●年間降水量●

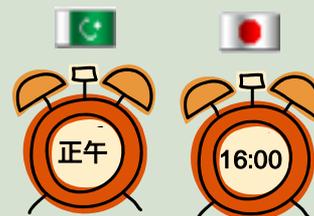


## ●宗教●

イスラーム教(国教)

## ●日本との時差●

- 4時間

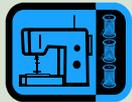


国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・主要言語・通貨:外務省ホームページ「各国・地域情勢」  
日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ホームページ「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) 日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

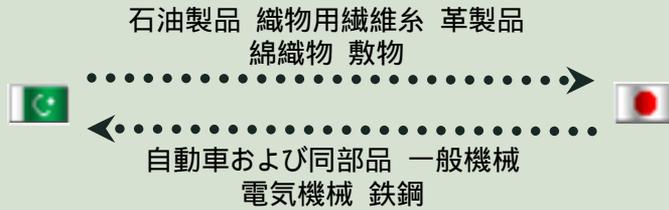


農業



繊維産業

●日本との貿易主要品目●



●一人あたりのGNI●

770米ドル(2006年世銀)



38,410米ドル(2006年世銀)



●在留邦人数●

769人(2007年10月現在)

●在日パキスタン人数●

8,610人(2005年)



●出生時の平均余命●

65年

82年



●都市人口の比率●

35%(2006年)

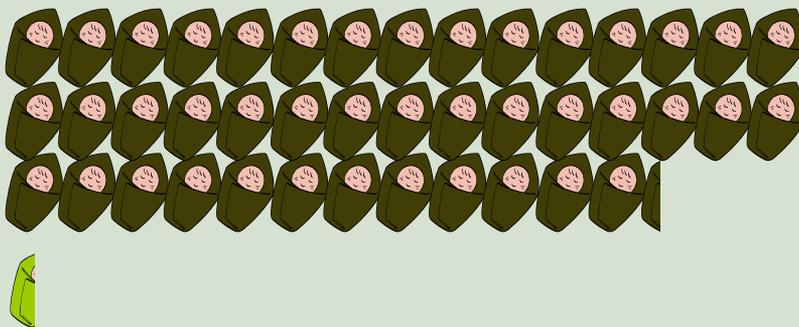
66%(2006年)



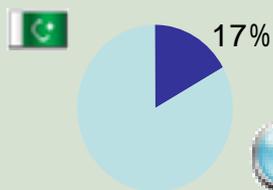
●5歳未満児の死亡者数●  
(出生1000人あたり)

423人(2006年)

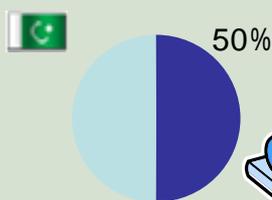
4人(2006年)



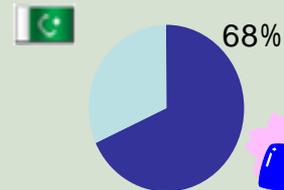
●1日1ドル以下で暮らす人の比率●  
(1995～2006年)



●成人の総識字率●  
(2000～2005年)

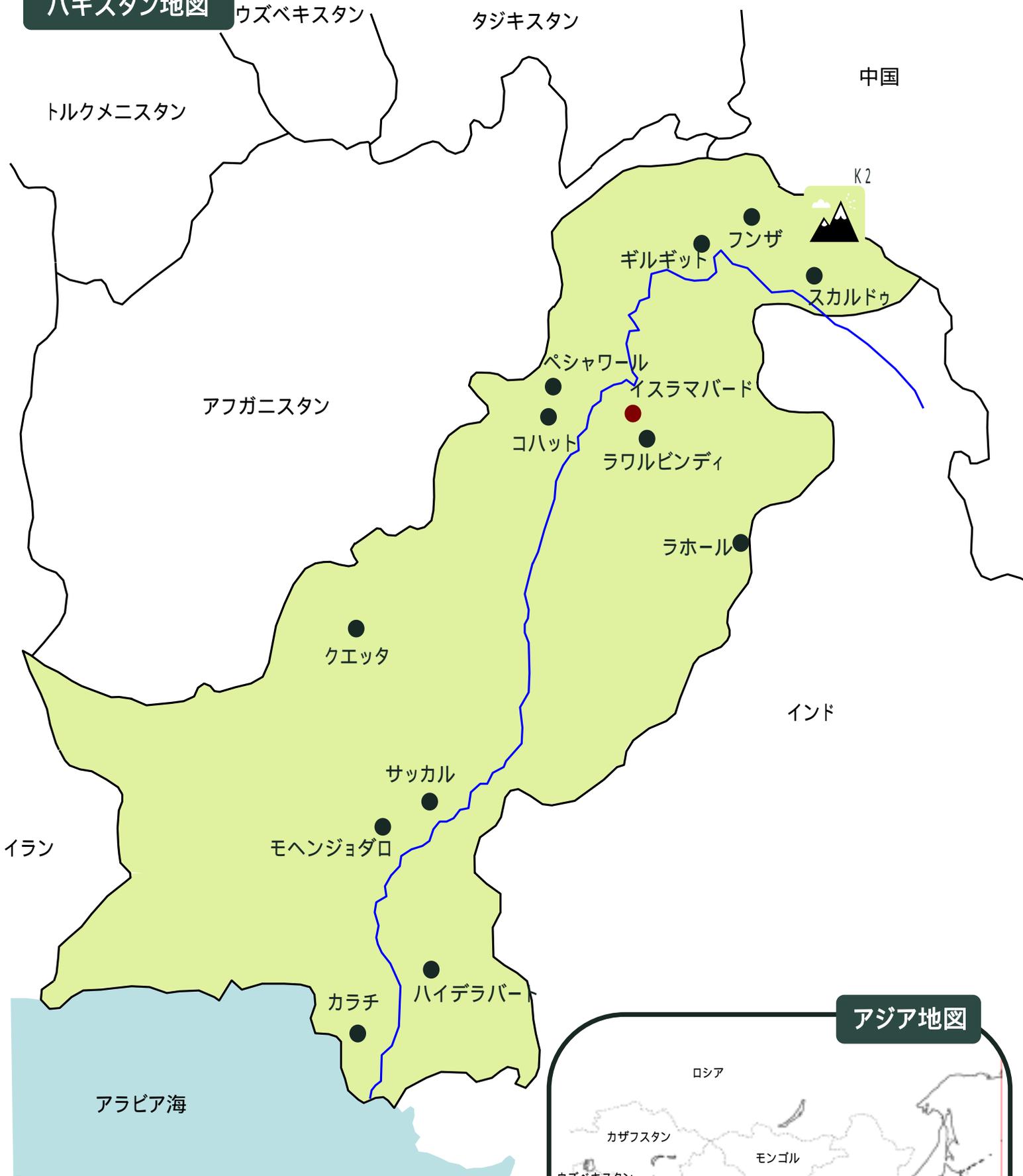


●初等教育純就学/出席率●  
(2000～2006年)



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日パキスタン人数: 外務省ホームページ「各国・地域情勢」  
一人あたりのGNI・出生時の平均余命・5歳未満児の死亡者数・都市人口の比率・1日1ドル以下で暮らす人の比率・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率: 世界子供白書2008(ユニセフ)

# パキスタン地図



# アジア地図





アジア地図





## 参考文献・データ等の出典

国連開発計画 (UNDP)

<http://www.undp.or.jp/>

外務省「各国地域情勢」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>

総務省統計局「日本の統計」

<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>

独立行政法人国際協力機構中部国際センター

<http://www.jica.go.jp/chubu/index.html>

財団法人日本ユニセフ協会

<http://www.unicef.or.jp>

パキスタンラホール

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Desert/2612/>

国際協力NGOわかちあいプロジェクト

<http://www.wakachiai.com/>

社団法人部落解放・人権研究所

[http://blhri.org/info/koza/koza\\_0060.htm](http://blhri.org/info/koza/koza_0060.htm)

財団法人日本・パキスタン協会

<http://www.nippa-kyokai.org/>

Pumpkin in india

<http://humtypumpkin.blog40.fc2.com/>

イムラン南林間店

<http://kanagawa.gourmet.livedoor.com/restaurant/pics/307771/>

パキスタン大百科

<http://www.ktc-johnny.com/pakalbumindex.html>

平成19年度防衛白書

『地球のともだち ユニセフワークブック』財団法人日本ユニセフ協会発行

『今がわかる時代がわかる世界地図2008年版』成美堂

『世界を見る目が変わる50の事実』草思社

『パキスタンを知るための60章』明石書店



### ご協力いただいた方たち (敬称略)

宮川裕之(独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)

元カラチ事務所長)

墨さおり(JICA青年海外協力隊OG)

独立行政法人国際協力機構中部国際センター

財団法人日本・パキスタン協会



### 執筆

津島市

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会



### 教材作成チームメンバー



愛西市・北名古屋市・弥富市・扶桑町・大治町

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

## わたしたちの地球と未来

 パキスタン・イスラム共和国 

2008年3月

**発行** 愛知県

**企画  
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会  
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号  
あいち国際プラザ

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

E-mail:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:http://www2.aia.pref.aichi.jp

**印刷** 株式会社 丸和印刷

